

【週刊タバコの正体】

Vol.52 第8話～第11話

2022年06月

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 52

(No. 708) 第8話 病気になるよ

ー「この商品を使用すると病気になるよ」と警告文...

タバコは人々の健康を阻害し、いろいろな病気の原因となります。例えば、肺がんや心筋梗塞になる危険性を高め、胎児の発育障害や早産の原因となることがわかっています。じつはタバコのパッケージには「タバコは健康に悪影響があります」と警告文が印刷されているのです。警告文にはいくつかの種類があり、最近、その表示面積が写真のように拡大されました。

「この商品は、健康に良いですよ」と広告するのが常識で、「この商品は肺がんの原因になりますよ」という商品なんてありえないはずなのに、タバコは「病気になるよ」と警告して販売されています。

(No. 709) 第9話 タバコさえ...

ー「タバコって怖い」「タバコさえ吸ってなければ」...

左に映っているのは、フロリダで幸せに暮らしていた親子の写真です。撮影された1999年3月29日には、息子を片手で抱きあげた精悍な父親のブライアンでしたが、その直後の4月2日に肺がんを発病、それからたった2ヶ月後、下の写真のような姿となり6月3日に亡くなりました。5月10日に34歳になったばかりでした。

(No. 710) 第10話 健康なお口

ーこんな姿にはなりたくない...

タバコには4000種類以上の化学物質、200種類以上の有害物質が含まれています。喫煙者はそんな煙を毎日吸い込むのですから、直接煙にさらされる口の中に影響がでないわけがありません。とりわけ歯や歯茎への影響は大きく、タバコを吸わない人に比べ2～8倍歯周病にかかりやすく、しかも治療しても治りにくいと言われています。

そして、見た目にも影響します。下図にあるように歯茎が黒ずみ歯にはタールが沈着して、とてもかっこ悪い口元になってしまいます。海外ではタバコのパッケージ(左:タイ、右:オーストラリア)に写真のような警告画像を印刷しているほどです。こんな口元になってしまう事を想像するだけでも恐ろしい感じがしますよね。それに表情の印象を悪くしてしまいうです。

(No. 711) 第11話 タバコと血管

ータバコは血管を傷める事...

タバコには4000種類以上の化学物質、200種類以上の有害物質が含まれています。喫煙者はそんな煙を毎日吸い込むのですから、身体の内なるところがダメージを受けます。直接煙にさらされる口の中や肺の病気については既に紹介しましたが、じつは血管もダメージを受ける事を知っているでしょうか。

タバコの主成分であるニコチンは交感神経を刺激し末梢血管の収縮と血圧上昇や心拍数を増加させます。タバコの成分がコレステロールの変性を促進し、左図のように血液をドロドロにし動脈硬化をおこす原因の一つとなっています。ところで、全身に血液を届ける血管の長さは動脈、静脈、毛細...

Volume 52 Serial number 708 第8話
2022 Apr. - Jul. 週刊 タバコの正体

タバコは人々の健康を阻害し、いろいろな病気の原因となります。例えば、肺がんや心筋梗塞になる危険性を高め、胎児の発育障害や早産の原因となることがわかっています。じつはタバコのパッケージには「タバコは健康に悪影響があります」と警告文が印刷されているのです。警告文にはいくつかの種類があり、最近、その表示面積が写真のように拡大されました。

●メビウス・マイルド・ブルーム・テック・プラス専用



リニューアル前 リニューアル後

（肺がん）
喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。喫煙による肺がんの発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。喫煙による肺がんの発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。喫煙による肺がんの発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。

（心筋梗塞）
喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の原因の一つとなります。喫煙による心筋梗塞の発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。喫煙による心筋梗塞の発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。喫煙による心筋梗塞の発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。

妊婦の喫煙
喫煙は、胎児の発育障害や早産の原因の一つとなります。喫煙による胎児の発育障害や早産の発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。喫煙による胎児の発育障害や早産の発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。喫煙による胎児の発育障害や早産の発症率は、喫煙量が多いほど高くなります。

受動喫煙
タバコの煙は、あなたの周りの人、特に乳幼児、子供、お年寄りなどの健康に悪影響を及ぼします。喫煙の煙には、周りの人の迷惑にならないようご注意ください。

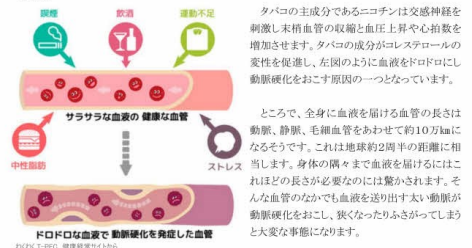
「この商品は、健康に良いですよ」と広告するのが常識で、「この商品は肺がんの原因になりますよ」という商品なんてありえないはずなのに、タバコは「病気になるよ」と警告して販売されています。

産業デザイン科 奥田恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

Volume 52 Serial number 711 第11話
2022 Apr. - Jul. 週刊 タバコの正体

タバコには4000種類以上の化学物質、200種類以上の有害物質が含まれています。喫煙者はそんな煙を毎日吸い込むのですから、身体の内なるところがダメージを受けます。直接煙にさらされる口の中や肺の病気については既に紹介しましたが、じつは血管もダメージを受ける事を知っているでしょうか。



タバコの主成分であるニコチンは交感神経を刺激し末梢血管の収縮と血圧上昇や心拍数を増加させます。タバコの成分がコレステロールの変性を促進し、左図のように血液をドロドロにし動脈硬化をおこす原因の一つとなっています。ところで、全身に血液を届ける血管の長さは動脈、静脈、毛細血管をあわせて約10万kmになるそうです。これは地球約2周半の距離に相当します。身体の間々で血液を届けるにはこれほどの長さが必要なのは驚かれます。そんな血管のなかでも血液を送り出す太い動脈が動脈硬化をおこし、狭くなったりふさがってしまふと大変な事態になります。

そこで、左図をみてください。たとえば心臓を動かすための動脈がふさがってしまうと狭心症や心筋梗塞、脳の動脈がそうなる脳梗塞という病気になります。これは突然発症する事が多く、そうなるまでに気づかないと命にかかわる事象となります。

タバコの健康被害は目に見える形でわかりません。しかし長年喫煙を続けていると少しずつ、こんなところでダメージを受け続け、ついには命にかかわる病気を発症します。この事をしっかりとめておいてください。

産業デザイン科 奥田恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

毎週火曜日発行



URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

